

応用情報学連続講座

ー情報学で何ができるのかー

「情報」は、水、電気、ガスなどの生活インフラについて重要な社会インフラの一つとなっています。さらに、今後も情報学における成果は、ますます社会で活用されることは間違いありません。本講座は、高校生を対象として、情報学分野の有用性を知ってもらうことを目的に、それぞれの話題をやさしく解説します。今回は「AI」、「データ分析」、「音声認識」、「制御」についてのお話です。本講座は連続講座ですが、希望する講義のみの受講もできます。

開催日時

令和7年①7月12日(土)②8月2日(土)③8月23日(土)④9月13日(土)10:00～11:30

会場

県立広島大学 広島キャンパス1175講義室（1棟1階）
（住所：広島市南区宇品東1-1-71）

講師

地域創生学部 地域創生学科 地域産業コース教員
・陳 訓泉 講師
・富田 哲治 教授
・折本 寿子 教授
・重丸 伸二 准教授

講座対象者

高校生（定員：40名）

受講料

無料

開催方法

対面方式



応募方法

下記のURLまたはQRコードから必要事項を入力し申し込んでください。
<https://forms.office.com/r/XTevcvft1J>

申込締切日以降に、メールで受講案内をお送りします。パソコンからのメール（@pu-hiroshima.ac.jp）や添付ファイル付のメールを受け取れるよう設定しておいてください。

申込締切日

令和7年6月30日（月）※定員になり次第、募集終了



主催：県立広島大学 地域創生学部 地域創生学科 地域産業コース（情報分野）※

連絡先：地域連携センター TEL 082-251-9534

✉ kouza@pu-hiroshima.ac.jp

※令和8年4月情報学科開設予定（設置構想中であり、変更となる可能性があります。）

◆プログラム◆

1.AIの舞台裏～認識から創造まで～

7月12日（土）陳 訓泉

AIはどのようにして「学習」、ものを「認識」、さらには「創造」するのか？この講義では、ディープラーニングを中心としたAI技術が、データから知識を学習したり、物体を認識したり、存在しないものを生み出したりする仕組みを説明します。また、身の回りでの応用事例や最新の研究内容を通して、AIの可能性とその限界について紹介します。

2.位置によって変わる「関係」のデータ分析

8月2日（土）富田 哲治

情報技術等の発展により、時間を経て何度も測定したり、測定した位置情報のついたデータを収集したりできるようになってきました。時間や位置の情報を活用することで、新しい視点でデータを分析する方法を開発することができます。ここでは、時間や位置によって変化する関係を定量的に推定し、地図等によって可視化する分析法について事例を交えて紹介します。

3.声や音の活用法を考えてみよう

8月23日（土）折本 寿子

音声認識が生活の中で使われるようになり、声で色々なことができるようになってきました。そこで、私たちが聞いている、声や音にはどんな性質があるのかを知り、音声認識に必要な情報は何かを学びます。そして、どんな計測器を使って、どんな音が取れ、どのように活用できるのか実際に計測し、紹介します。

4.高校数学でわかる制御理論

9月13日（土）重丸 伸二

私たちの生活の中では様々な場面で制御が行われています。本講義では、制御対象をモデル化して理論的に制御する方法を考える制御理論の基礎を説明します。これには皆さんが高校で習っている数学が使われます。どのように使われているかも紹介します。一部高校数学の範囲を超える部分がありますが、学年も問いませんので気軽に受講してください。

※本講座は連続講座ですが、希望する講義のみの受講も可能です。

◆申込・受講にあたってのお願い◆

- (1) 申込締切後、メールで受講案内をお送りします。
必ず、パソコンからのメール（@pu-hiroshima.ac.jp）を受信できるようにしておいてください。
- (2) 申込締切後に受講案内が届かない場合は、お問い合わせください。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は、県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。